

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 エックス・ポーネント・パール	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	△RG 0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：エックス・ポーネント・パール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

比較対照ボール：エックス・ポーネント

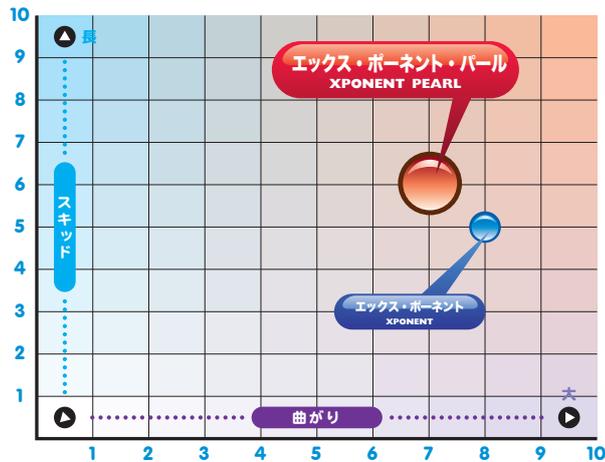
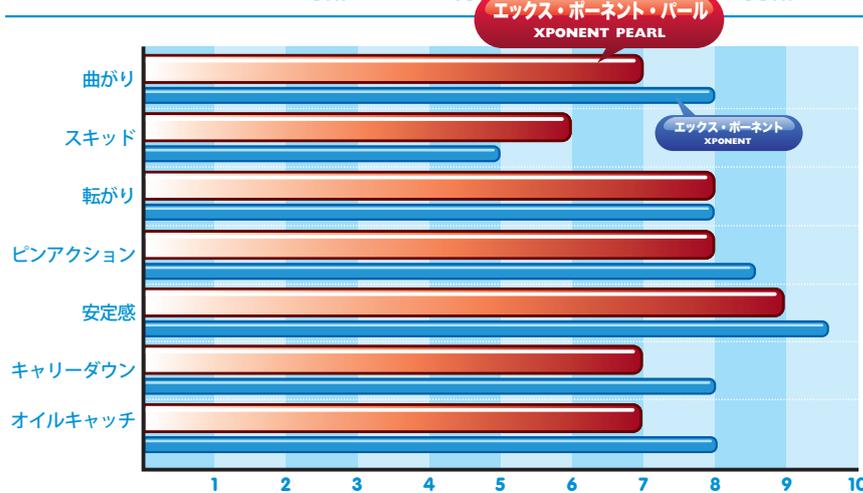
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

様々な添加剤とカバーを組み合わせ1年半以上の研究開発によりReserve Blendカバーが誕生し、今年8月発売のZEN GOLD LABELから採用されました。Reserve Blendは900、800、700と3種類あり、左端の数値がオイルに対しての対応領域と、カバーストックの強さを表しています。

この中でミディアム系統を担うのが700シリーズで、8月に900Globalのベンチマーク的な役割のもとXPONENTが発売されました。Solid素材でも扱いやすさの中にしっかりとパフォーマンスも読み取れ、ミディアムオイルよりもややオイルがあるコンディションでも十二分に使用できるほどの万能性を秘めた性能でした。

今回リリースされるXPONENT PEARLは、まさにミディアムコンディションでもその強さを発揮するPEARL素材で作成されていて、レーンヘッドが薄い状態でもクリーンな走りを得られ、バックエンドまでエネルギーを保つことができます。従来700シリーズで使用していたS70カバーストックよりもシャープな反応性があるのもReserve Blend 700の特徴と言えるでしょう。

前作とは明らかな違いがあるので、同じ領域からのチェンジではなく、Reserve Blend 801のZEN GOLD LABELからのボールチェンジだとすんなりアジャストが完結します。

ZEN GOLD LABELは走りは強く出るイメージがありますが、どうしても800系統のキャッチ力ができる傾向があります。そんな場合、XPONENT PEARLがその問題を解決してくれるでしょう。900Globalでミディアムから下の領域はWOLVERINE一強でしたが、XPONENT PEARLが加わることで、新たな攻略の図式が描けるでしょう。

特記事項

ミディアム領域のWOLVERINEに変わる選択肢として、またZEN GOLD LABELのボールチェンジの役割としての使用も可能。走りを基調として後半勝負できるスペックとしてお考えください。